



JREU TOKYO

業務部速報



2026.4.30 No.044

発行：JR東労組東京地本 業務部

東京総合車両センター田町派出所の体制見直しについて 首都圏本部より提案を受ける！！

- 実施箇所…東京総合車両センター
- 実施内容…(1)田町派出所における構内副長の業務について見直しを行い、泊まり体制から日勤体制へ変更する。
(2)田町派出所における検修当直の作業ダイヤを見直しを行う。
(3)田町派出所における乗務員の出先点呼等の対応方法を見直す。
- 実施日…2026年7月1日
- その他…(1)実施に向け、必要な教育・訓練等の準備を進める。
(2)箇所名は2026年4月時点での名称を使用している。

提案時の主な議論内容

※提案箇所体制に東京統括センターの記載があるが、浜松町駅が東京統括センターから品川事業本部になるため。

● 体制について

- ・現行…**管理/交代1(構内副長・早番)** 一般/交代1(検修当直・遅番)の2徹体制
- ・改正…**管理/変形1(構内副長)** 一般/交代1(検修当直)の1日勤1徹体制
- ・現在員数…管理者4名、アドバイザー1名、一般社員3名に加え、一般社員は代務者も含めて運営をしている。
- ・1日あたりの出面数としては、東京総合車両センターの管理/交代が-1、管理/変形が+1となる。
- ・田町派出所勤務者の在勤地指定については7月1日の事業本部設立をもって解除される。
- ・TK東エリア(山手)の体制(構内副長1徹、検修当直1徹)に変更はない。

● 実施内容(1)構内副長について

- ・作業ダイヤについては8:30~17:00の日勤を計画している。
- ・これまで早番者である構内副長が行っていた作業(夜間~早朝を含む)はTKの東エリア(山手)が主に担う。

● 実施内容(2)検修当直について

- ・出退勤時刻変更の検討…現行8:45~翌8:05→改正8:55~翌8:35。起床確認は東エリアと行う。
- ・作業ダイヤ上の休憩時間変更の検討…23:00~23:30の休憩→22:00~23:00休憩へ。起床は現行通りを予定。
- ・構内副長が夜間~早朝にかけて行っていた業務は東エリア(山手)が担う。構内副長が行っていた業務を検修当直が担うことは基本的にはないと考えるが、車両運用の“まわし”など、構内副長が検修当直を手伝っていた業務は検修当直のみで行うこととなる。

● 実施内容(3)乗務員の出先点呼等について

- ・運転士との対面点呼を廃止し、到着、起床どちらも自区当直との電話点呼とする。(田町派出所の構内副長・検修当直は日中帯、深夜早朝帯の全てで乗務員点呼を行わなくなる)
- ・対象職場は東京、丸の内、新宿、上野、我孫子、国府津、熱海、土浦、勝田の乗務員職場。
- ・起床点呼時に自区当直から出区番線や車両の編成番号が通告される。

● 異常時対応について

- ・異常時の対応レベルは落ちない
- ・グループ会社への臨時的作業発注は東エリア(山手)で行う。運用整理は東エリアと協力して行う。

● 教育について

- ・東エリア(山手)の副長に品川構内の教育を行う。田町派出所を担う社員を増やすかどうかにについては検討中である。
- ・グループ会社への必要な周知も行っていく。